

千葉県企業経営動向調査 (2005年10～12月期)

概 要

1. 県内企業の業況判断BSI（全産業）は、3期連続で改善し、2期続けて「好転」超となった。
 - ・ 全産業及び非製造業は、02年7～9月期に業況判断BSIの統計を開始して以来最高の水準。
 - ・ 製造業、非製造業、規模別の全区分で「好転」超となったのも同統計開始以来初めて。
2. 売上BSI（全産業）も、3期連続で改善した。
 - ・ 製造業、非製造業ともに2期連続で「増加」超となった。
3. 収益BSI（全産業）は、現行区分の統計開始（95年7～9月）以来初めて「増加」超となった。
4. 生産BSI（製造業）は、大企業、中小企業ともに大幅改善し、全10業種中9業種が「増加」超となった。
5. 在庫BSI（全産業）は、4期連続で改善し、02年10～12月期以来3年ぶりに「不足」超となった。
 - ・ 製造業では、大企業、中小企業が揃って「不足」超となったのは、現行区分で統計開始（95年7～9月）以来初めて。
6. 価格BSI（全産業）は、3期ぶりに「低下」超幅が拡大した。
 - ・ 製造業では「低下」超幅が縮小したが、非製造業での「低下」超幅の拡大が目立つ。
7. 05年度設備投資計画（全産業）は、04年度実績比+0.4%の微増となった。製造業では同+5.8%増加、非製造業では同△2.5%の減少。期初計画比（同）でも+0.3%と僅かながら上方修正となった。
8. 雇用BSI（全産業）は6期連続で「不足」超となった。
 - ・ 製造業、非製造業とも「不足」超が続いている。特に、中小企業で不足感が強い。

千葉県経済センター

(財団法人ひまわりベンチャー育成基金)

1. 業況判断実績・見通しBSI（グラフ1）

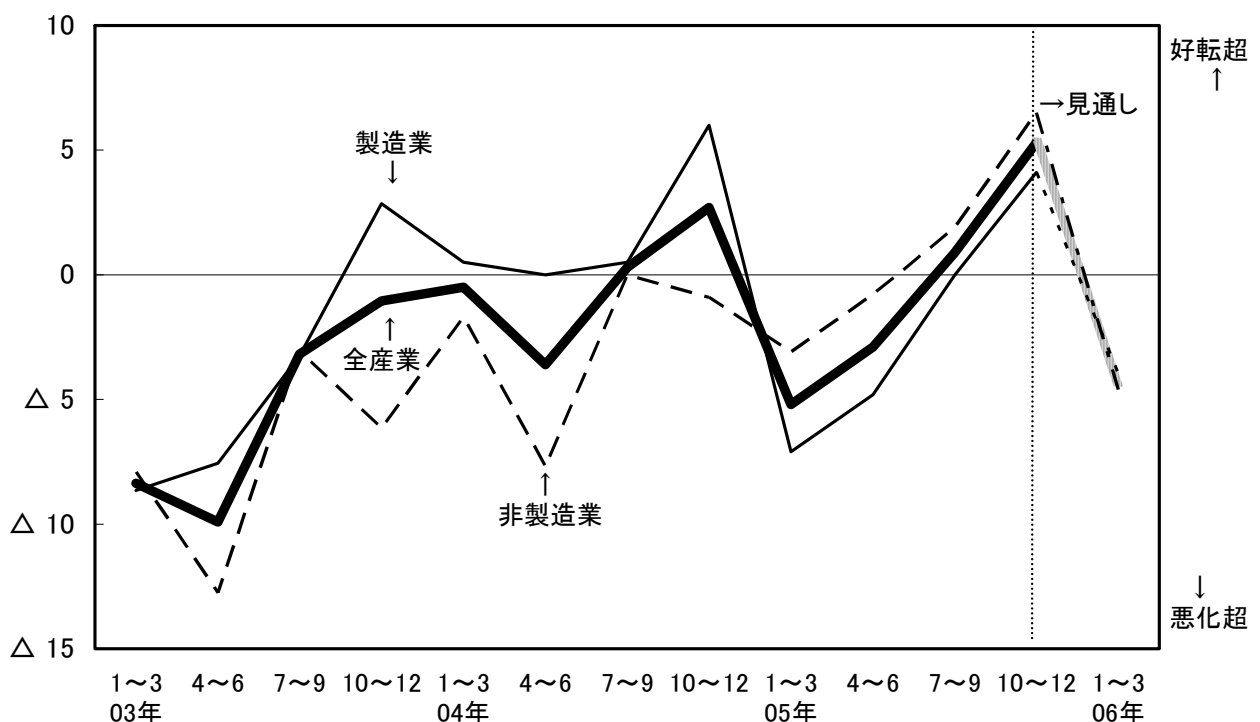
05年10～12月期の企業の業況判断BSI（全産業）は5.3と3期連続で改善し、2期続けて「好転」超となった。製造業は4.1で前回（7～9月期）比+4.1、非製造業も6.5（同+4.6）といずれも大幅に改善した。今期の全産業及び非製造業の業況判断BSI値は、02年7～9月期に業況判断BSIの統計を開始して以来最高の水準となった。規模別にみても全区分で改善かつ「好転」超となった。全区分で「好転」超となったのも本統計開始以来初めて。業種別にみると、製造業では、電気機械、食料品、金属製品などの改善が目立った。非製造業では、運輸・倉庫、サービス、建設などは改善したが、ホテル・旅館と小売は悪化した。

先行き（1～3月期）の業況判断（全産業）は△4.3（実績比△9.6）と悪化見込み。

	04年度		05年度				
	実績				見通し		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回比	1～3月	実績比
全産業	△ 5.2	△ 2.9	0.9	5.3	4.4	△ 4.3	△ 9.6
製造業	△ 7.1	△ 4.8	0.0	4.1	4.1	△ 4.0	△ 8.1
大企業	△ 3.9	△ 5.5	3.1	3.9	0.8	0.0	△ 3.9
中小企業	△ 8.1	△ 4.6	△ 1.1	4.1	5.2	△ 5.6	△ 9.7
非製造業	△ 3.1	△ 0.8	1.9	6.5	4.6	△ 4.6	△ 11.1
大企業	3.5	△ 0.5	7.1	10.5	3.4	0.6	△ 9.9
中小企業	△ 9.3	△ 1.1	△ 2.5	2.9	5.3	△ 9.5	△ 12.3

	04年度		05年度				
	実績				見通し		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回比	1～3月	実績比
食料品	△ 20.5	△ 5.2	△ 6.7	2.9	9.6	△ 12.9	△ 15.8
石油・化学	△ 10.7	△ 10.4	1.8	5.8	4.0	3.9	△ 1.9
プラスチック	△ 14.3	△ 4.2	△ 4.2	△ 4.2	0.0	△ 8.4	△ 4.2
窯業・土石	6.7	△ 5.0	8.8	△ 3.4	△ 12.2	△ 3.6	△ 0.2
鉄鋼・非鉄金属	△ 3.4	△ 15.4	10.7	11.6	0.9	△ 7.7	△ 19.3
金属製品	△ 5.4	△ 5.8	0.0	5.6	5.6	△ 9.3	△ 14.9
一般・精密機械	2.8	2.9	14.3	3.6	△ 10.7	0.0	△ 3.6
電気機械	△ 18.2	△ 4.6	△ 11.1	22.2	33.3	16.7	△ 5.5
輸送用機械	13.9	0.0	△ 7.7	△ 10.0	△ 2.3	△ 6.7	3.3
その他製造	△ 9.3	0.0	△ 3.9	9.5	13.4	2.4	△ 7.1
建設	△ 10.9	8.0	△ 7.9	0.0	7.9	△ 10.0	△ 10.0
運輸・倉庫	△ 14.3	0.0	7.9	19.5	11.6	△ 2.8	△ 22.3
卸売	△ 3.0	2.7	5.4	13.2	7.8	△ 1.4	△ 14.6
小売	11.7	△ 6.4	5.4	0.0	△ 5.4	△ 2.8	△ 2.8
ホテル・旅館	△ 20.6	7.7	12.5	0.0	△ 12.5	△ 10.0	△ 10.0
サービス	2.8	△ 5.2	△ 4.4	6.1	10.5	△ 5.1	△ 11.2

グラフ1 業況判断実績・見通しBSIの推移[全産業・製造業・非製造業]
(好転－悪化)



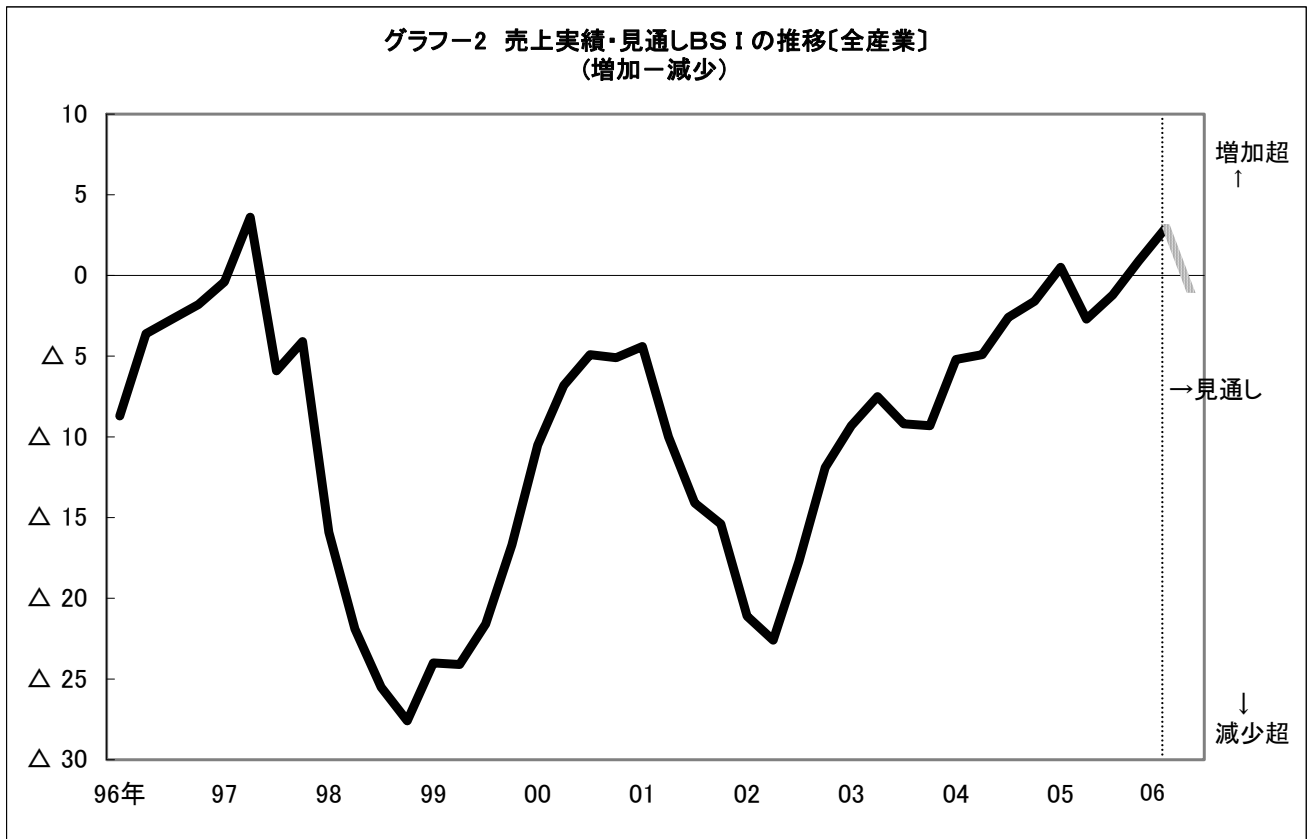
2. 売上実績・見通しBSI（グラフ2）

売上実績BSI（全産業）は2.9（前环比+2.0）と3期連続で改善し、2期連続で「増加」超となった。製造業は4.3（同+3.8）、非製造業は1.4（同横ばい）となった。非製造業中小企業（△2.8、同△1.3）を除き全区分で「増加」超、前环比好転となった。業種別にみると、製造業では電気機械、金属製品、石油・化学などは改善したが、窯業・土石などは悪化した。非製造業では、建設、運輸・倉庫などは改善したが、ホテル・旅館などが悪化した。

先行きの売上BSI（全産業）は△0.8で実績比△3.7の悪化見込み。

	04年度	05年度				見通し	
	1～3月	実績			前环比	1～3月	実績比
		4～6月	7～9月	10～12月			
全産業	△ 2.7	△ 1.2	0.9	2.9	2.0	△ 0.8	△ 3.7
製造業	△ 2.4	△ 2.7	0.5	4.3	3.8	1.6	△ 2.7
大企業	5.9	△ 3.6	△ 1.1	6.9	8.0	2.0	△ 4.9
中小企業	△ 5.0	△ 2.3	1.1	3.3	2.2	1.5	△ 1.8
非製造業	△ 3.1	0.6	1.4	1.4	0.0	△ 3.5	△ 4.9
大企業	4.6	6.0	4.7	5.9	1.2	△ 2.4	△ 8.3
中小企業	△ 10.1	△ 4.6	△ 1.5	△ 2.8	△ 1.3	△ 4.6	△ 1.8

	04年度	05年度				見通し	
	1～3月	実績			前环比	1～3月	実績比
		4～6月	7～9月	10～12月			
食料品	△ 14.5	△ 12.2	△ 8.4	△ 4.2	4.2	△ 4.3	△ 0.1
石油・化学	△ 1.8	1.7	0.0	5.8	5.8	9.7	3.9
プラスチック	△ 14.3	△ 4.2	△ 4.2	0.0	4.2	0.0	0.0
窯業・土石	13.4	7.5	15.6	△ 3.4	△ 19.0	△ 7.2	△ 3.8
鉄鋼・非鉄金属	10.0	7.7	14.3	11.6	△ 2.7	0.0	△ 11.6
金属製品	△ 1.9	△ 5.8	△ 3.4	12.5	15.9	5.4	△ 7.1
一般・精密機械	25.0	5.9	17.9	3.4	△ 14.5	3.4	0.0
電気機械	△ 22.7	△ 22.8	△ 33.4	27.8	61.2	16.7	△ 11.1
輸送用機械	8.3	3.4	14.3	6.3	△ 8.0	△ 9.4	△ 15.7
その他製造	△ 12.1	△ 4.0	△ 3.9	△ 2.5	1.4	5.0	7.5
建設	△ 16.7	△ 4.0	△ 13.2	△ 2.4	10.8	△ 4.8	△ 2.4
運輸・倉庫	0.0	△ 8.4	2.6	11.8	9.2	0.0	△ 11.8
卸売	△ 1.5	9.5	8.1	3.9	△ 4.2	4.1	0.2
小売	8.1	11.6	6.8	6.8	0.0	△ 1.4	△ 8.2
ホテル・旅館	△ 17.7	△ 3.9	3.1	△ 16.6	△ 19.8	△ 20.0	△ 3.3
サービス	△ 1.0	△ 6.9	△ 2.6	△ 1.1	1.5	△ 6.4	△ 5.3



3. 生産・操業状況・受注・在庫BSI

(1) 生産実績・見通しBSI (グラフ—3・4)

生産BSI (製造業) は6.2で前回は+7.8と大幅改善し、4期ぶりに「増加」超となった。大企業は11.0 (同+8.9)、中小企業も4.3 (同+7.2) といずれも大幅改善した。業種別には、電気機械、プラスチック、金属製品などが改善したが、一般・精密機械などは悪化した。「増加」超の業種は、全10業種中9業種と前回 (3業種) に比べ大幅に増加した。

先行きの生産BSI (全産業) は2.0と実績比△4.2悪化見込み。

	04年度	05年度					
	実績					見通し	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	前回は	1~3月	実績比
製造業	△ 2.6	△ 3.3	△ 1.6	6.2	7.8	2.0	△ 4.2
大企業	7.2	3.7	2.1	11.0	8.9	4.0	△ 7.0
中小企業	△ 5.8	△ 6.0	△ 2.9	4.3	7.2	1.2	△ 3.1

	04年度	05年度					
	実績					見通し	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	前回は	1~3月	実績比
食料品	△ 11.1	△ 9.0	△ 1.8	1.5	3.3	△ 1.5	△ 3.0
石油・化学	3.6	△ 1.8	△ 5.6	5.8	11.4	8.0	2.2
プラスチック	△ 21.4	0.0	△ 11.6	4.2	15.8	△ 12.5	△ 16.7
窯業・土石	4.2	7.9	12.5	3.6	△ 8.9	0.0	△ 3.6
鉄鋼・非鉄金属	15.4	4.2	11.6	12.5	0.9	△ 4.2	△ 16.7
金属製品	△ 9.0	△ 5.8	△ 5.0	10.7	15.7	1.8	△ 8.9
一般・精密機械	23.5	0.0	15.4	△ 7.2	△ 22.6	3.6	10.8
電気機械	△ 22.7	△ 25.0	△ 31.3	27.8	59.1	16.7	△ 11.1
輸送用機械	15.6	7.2	0.0	3.9	3.9	0.0	△ 3.9
その他製造	△ 14.3	△ 7.9	△ 4.4	8.8	13.2	8.3	△ 0.5

(2) 操業度実績・見通しBSI (グラフ—3)

操業度BSI (製造業) は4.0と前回は+5.1改善し、4期ぶりに「上昇」超となった。大企業は9.0 (同+12.1) と大幅改善した。中小企業も2.0と同+2.4改善した。業種別には、電気機械、金属製品、石油・化学などは改善したが、窯業・土石、一般・精密機械は悪化した。

先行きの操業度BSI (全産業) は2.6と実績比△1.4悪化見込み。

	04年度	05年度					
	実績					見通し	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	前回は	1~3月	実績比
製造業	△ 2.8	△ 3.9	△ 1.1	4.0	5.1	2.6	△ 1.4
大企業	5.0	3.7	△ 3.1	9.0	12.1	3.0	△ 6.0
中小企業	△ 5.5	△ 6.8	△ 0.4	2.0	2.4	2.4	0.4

	04年度	05年度					
	実績					見通し	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	前回は	1~3月	実績比
食料品	△ 9.8	△ 9.0	0.0	4.4	4.4	1.5	△ 2.9
石油・化学	△ 1.8	△ 1.7	△ 3.6	2.0	5.6	8.0	6.0
プラスチック	△ 28.6	△ 12.5	△ 7.7	△ 4.6	3.1	△ 9.1	△ 4.5
窯業・土石	8.3	8.9	9.4	0.0	△ 9.4	0.0	0.0
鉄鋼・非鉄金属	3.9	8.4	3.9	4.2	0.3	△ 8.3	△ 12.5
金属製品	△ 5.4	△ 5.8	△ 1.7	5.4	7.1	1.8	△ 3.6
一般・精密機械	23.5	5.9	7.7	3.6	△ 4.1	7.2	3.6
電気機械	△ 22.7	△ 20.0	△ 21.5	27.8	49.3	11.1	△ 16.7
輸送用機械	18.8	0.0	3.6	3.9	0.3	4.2	0.3
その他製造	△ 8.7	△ 10.0	△ 6.9	0.0	6.9	5.6	5.6

(3) 受注実績・見通しBSI (グラフー3・4)

受注BSI (製造業、建設業) は2.9で前环比+6.4と改善し、4期ぶりに「増加」超となった。大企業は7.3 (同+7.3)、中小企業も2.0 (同+5.3) とそれぞれ改善した。業種別には、電気機械、金属製品、プラスチックなどは改善したが、窯業・土石、一般・精密機械などは悪化した。

先行きの受注BSI (全産業) は△1.3と実績比△4.2悪化見込み。

	04年度	05年度					
	1～3月	実績				見通し	
		4～6月	7～9月	10～12月	前环比	1～3月	実績比
製造業+建設業	△3.6	△3.8	△3.5	2.9	6.4	△1.3	△4.2
製造業	△3.3	△4.3	△2.4	3.5	5.9	0.0	△3.5
大企業	6.3	△2.8	0.0	7.3	7.3	2.1	△5.2
中小企業	△6.4	△4.9	△3.3	2.0	5.3	△0.8	△2.8
食料品	△19.2	△13.2	△4.2	△3.3	0.9	△4.9	△1.6
石油・化学	1.8	△1.8	△3.6	6.3	9.9	8.7	2.4
プラスチック	△15.4	4.2	△15.4	0.0	15.4	△10.0	△10.0
窯業・土石	3.9	5.0	14.7	△6.7	△21.4	△6.7	0.0
鉄鋼・非鉄金属	7.2	△4.2	0.0	8.3	8.3	△8.4	△16.7
金属製品	△5.8	△5.8	△6.7	10.7	17.4	3.6	△7.1
一般・精密機械	22.2	3.0	15.4	△3.6	△19.0	△7.2	△3.6
電気機械	△31.8	△25.0	△27.8	27.8	55.6	16.7	△11.1
輸送用機械	16.7	7.2	7.2	0.0	△7.2	3.9	3.9
その他製造	△8.7	△7.2	△6.5	2.8	9.3	2.8	0.0
建設	△6.5	0.0	△13.9	△2.5	11.4	△12.5	△10.0

※非製造業は建設のみのため、特に記載せず

(4) 在庫実績・見通しBSI (グラフー3)

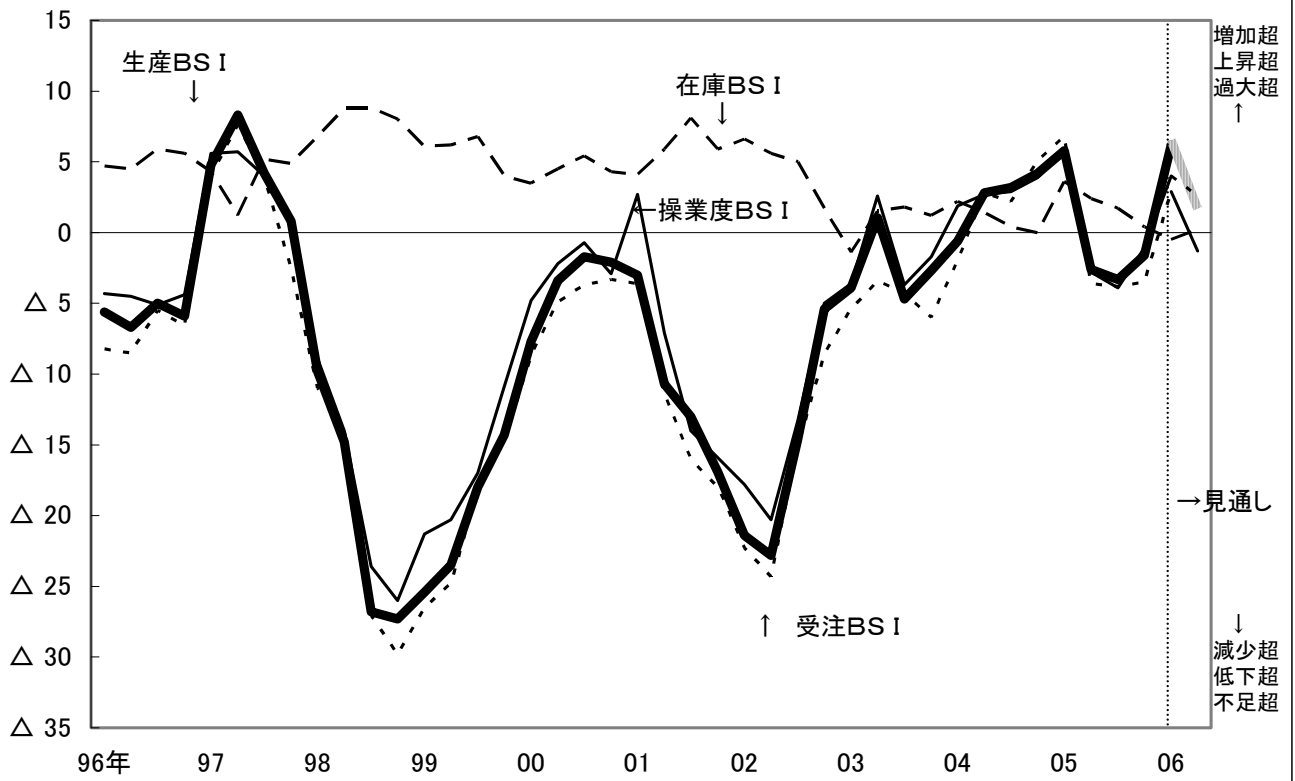
在庫BSI (全産業) は△0.5 (前环比△0.9) と4期連続で改善し、02年10～12月期 (△1.4) 以来3年ぶりに「不足」超となった。製造業では大企業が△2.0 (同△6.3)、中小企業も△1.9 (同△1.2) とそれぞれ「不足」超となった。大企業、中小企業ともに「不足」超となるのは、現行区分で統計開始 (95年7～9月) 以来初めて。非製造業は、1.6と同+1.6「過大」超幅が拡大した。業種別には、電気機械が△5.6 (同△11.9) となり、99年10～12月期 (△3.1) 以来6年ぶりに「不足」超となるなど、多くの業種で在庫BSIが改善した。

先行きの在庫BSI (全産業) は、0.2 (実績比+0.7) と僅かながら「過剰」超となる見込み。

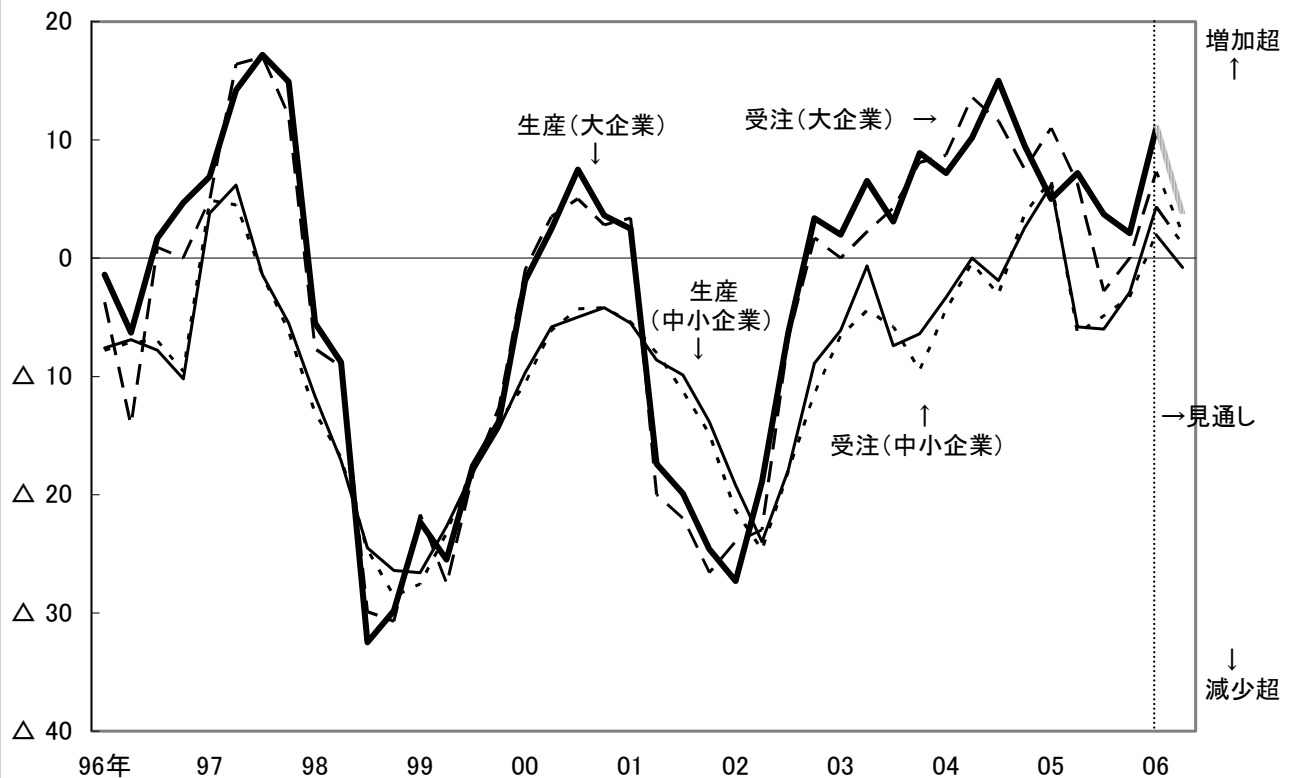
	04年度	05年度					
	1～3月	実績				見通し	
		4～6月	7～9月	10～12月	前环比	1～3月	実績比
全産業	2.4	1.7	0.4	△0.5	△0.9	0.2	0.7
製造業	3.3	3.1	0.6	△1.9	△2.5	△0.3	1.6
大企業	5.2	6.6	4.3	△2.0	△6.3	0.0	2.0
中小企業	2.7	1.8	△0.7	△1.9	△1.2	△0.4	1.5
非製造業	0.9	△0.4	0.0	1.6	1.6	0.8	△0.8
大企業	0.0	△0.7	△1.6	0.0	1.6	0.7	0.7
中小企業	1.9	0.0	1.7	3.6	1.9	0.9	△2.7
食料品	1.4	1.3	△3.7	△2.9	0.8	1.5	4.4
石油・化学	5.4	3.5	0.0	△5.8	△5.8	△6.0	△0.2
プラスチック	7.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	△5.9	△6.7	△11.6	△4.9	△15.4	△3.8
鉄鋼・非鉄金属	3.6	15.4	7.2	0.0	△7.2	7.7	7.7
金属製品	0.0	△4.0	1.7	0.0	△1.7	3.6	3.6
一般・精密機械	2.8	5.9	3.6	3.4	△0.2	3.4	0.0
電気機械	5.0	0.0	6.3	△5.0	△11.9	△5.6	0.0
輸送用機械	0.0	3.9	△4.2	3.0	7.8	0.0	△3.6
その他製造	8.0	11.9	4.4	0.0	△4.4	2.7	2.7
建設	7.2	7.2	△7.2	△5.6	1.6	△6.3	△0.7
運輸・倉庫	△5.0	△5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
卸売	3.2	△1.4	1.5	4.3	2.8	0.0	△4.3
小売	1.7	△1.3	0.0	2.8	2.8	1.5	△1.3
ホテル・旅館	4.2	0.0	4.6	5.0	0.4	5.0	0.0
サービス	△4.0	0.0	△1.8	△3.6	△1.8	0.0	3.6

注) BSIが大きいと在庫過大であることを表す

グラフ-3 生産[製造業]・操業度[製造業]・受注[製造業及び建設業]・在庫[全産業]BSIの推移
 (増加-減少) (上昇-低下) (増加-減少) (過大-不足)



グラフ-4 規模別生産・受注BSIの推移(生産:製造業、受注:製造業及び建設業)
 (増加-減少)



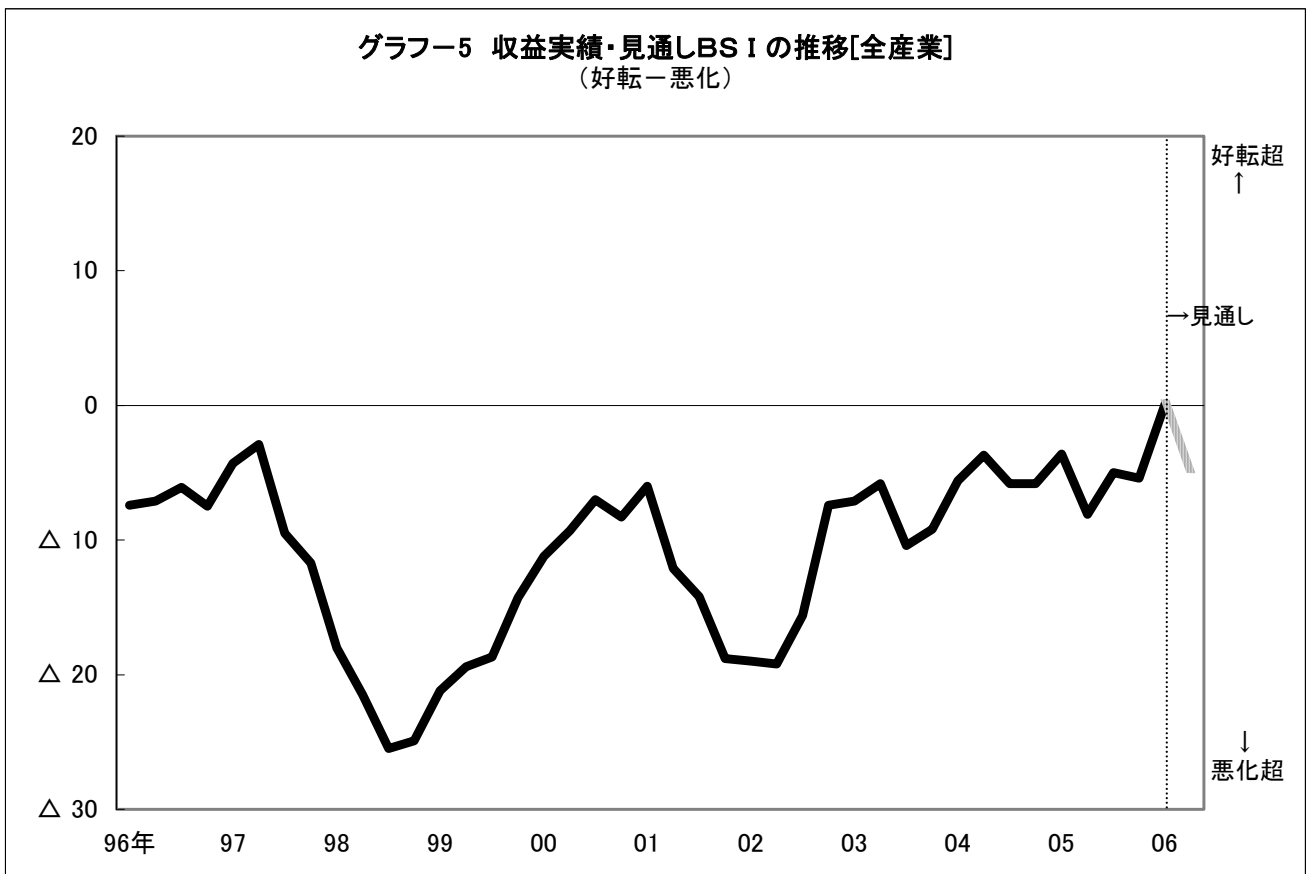
4. 収益実績・見通しBSI（グラフー5）

収益BSI（全産業）は0.1で前环比+5.5改善し、現行区分の統計開始（95年7～9月）以来初めての「増加」超となった。製造業は2.4（同+10.4）と大幅改善し、4期ぶりに「増加」超、非製造業も△2.3（同+0.2）と僅かながら改善した。業種別にみると、製造業では、電気機械、金属製品、石油・化学など多くの業種で大幅に改善したが、窯業・土石や一般・精密機械は悪化した。非製造業では、建設、運輸・倉庫、サービスが改善したが、ホテル・旅館、小売は悪化した。

先行きの収益BSI（全産業）は△4.7（実績比△4.8）と悪化見込み。

	04年度	05年度					
	1～3月	実績				見通し	
		4～6月	7～9月	10～12月	前环比	1～3月	実績比
全産業	△ 8.1	△ 5.0	△ 5.4	0.1	5.5	△ 4.7	△ 4.8
製造業	△ 10.7	△ 9.3	△ 8.0	2.4	10.4	△ 2.8	△ 5.2
大企業	0.9	△ 6.4	△ 11.5	3.9	15.4	△ 1.9	△ 5.8
中小企業	△ 14.3	△ 10.3	△ 6.9	1.8	8.7	△ 3.1	△ 4.9
非製造業	△ 5.0	△ 0.3	△ 2.5	△ 2.3	0.2	△ 6.9	△ 4.6
大企業	△ 1.2	8.2	3.0	2.9	△ 0.1	△ 3.6	△ 6.5
中小企業	△ 8.6	△ 8.3	△ 7.2	△ 7.3	△ 0.1	△ 10.0	△ 2.7
食料品	△ 15.8	△ 9.5	△ 10.0	1.4	11.4	△ 5.9	△ 7.3
石油・化学	△ 9.0	△ 10.4	△ 16.7	2.0	18.7	4.2	2.2
プラスチック	△ 28.6	△ 8.3	△ 3.9	8.3	12.2	△ 8.3	△ 16.6
窯業・土石	14.3	5.0	12.5	△ 10.0	△ 22.5	△ 7.7	2.3
鉄鋼・非鉄金属	0.0	△ 3.9	10.7	11.6	0.9	0.0	△ 11.6
金属製品	△ 17.9	△ 11.6	△ 13.4	9.0	22.4	△ 5.6	△ 14.6
一般・精密機械	11.1	0.0	10.8	0.0	△ 10.8	3.4	3.4
電気機械	△ 18.2	△ 22.8	△ 22.2	16.7	38.9	16.7	0.0
輸送用機械	2.8	△ 16.7	△ 21.5	△ 9.4	12.1	△ 18.8	△ 9.4
その他製造	△ 25.9	△ 16.0	△ 13.5	0.0	13.5	2.4	2.4
建設	△ 16.7	△ 10.0	△ 18.4	△ 10.0	8.4	△ 15.0	△ 5.0
運輸・倉庫	0.0	△ 8.4	5.6	11.1	5.5	△ 5.9	△ 17.0
卸売	4.4	4.2	0.0	0.0	0.0	△ 2.7	△ 2.7
小売	4.9	14.1	4.1	△ 1.4	△ 5.5	△ 3.0	△ 1.6
ホテル・旅館	△ 32.4	3.9	9.4	△ 7.2	△ 16.6	△ 7.7	△ 0.5
サービス	△ 4.8	△ 6.9	△ 8.9	△ 5.1	3.8	△ 9.6	△ 4.5

グラフー5 収益実績・見通しBSIの推移[全産業]
（好転－悪化）



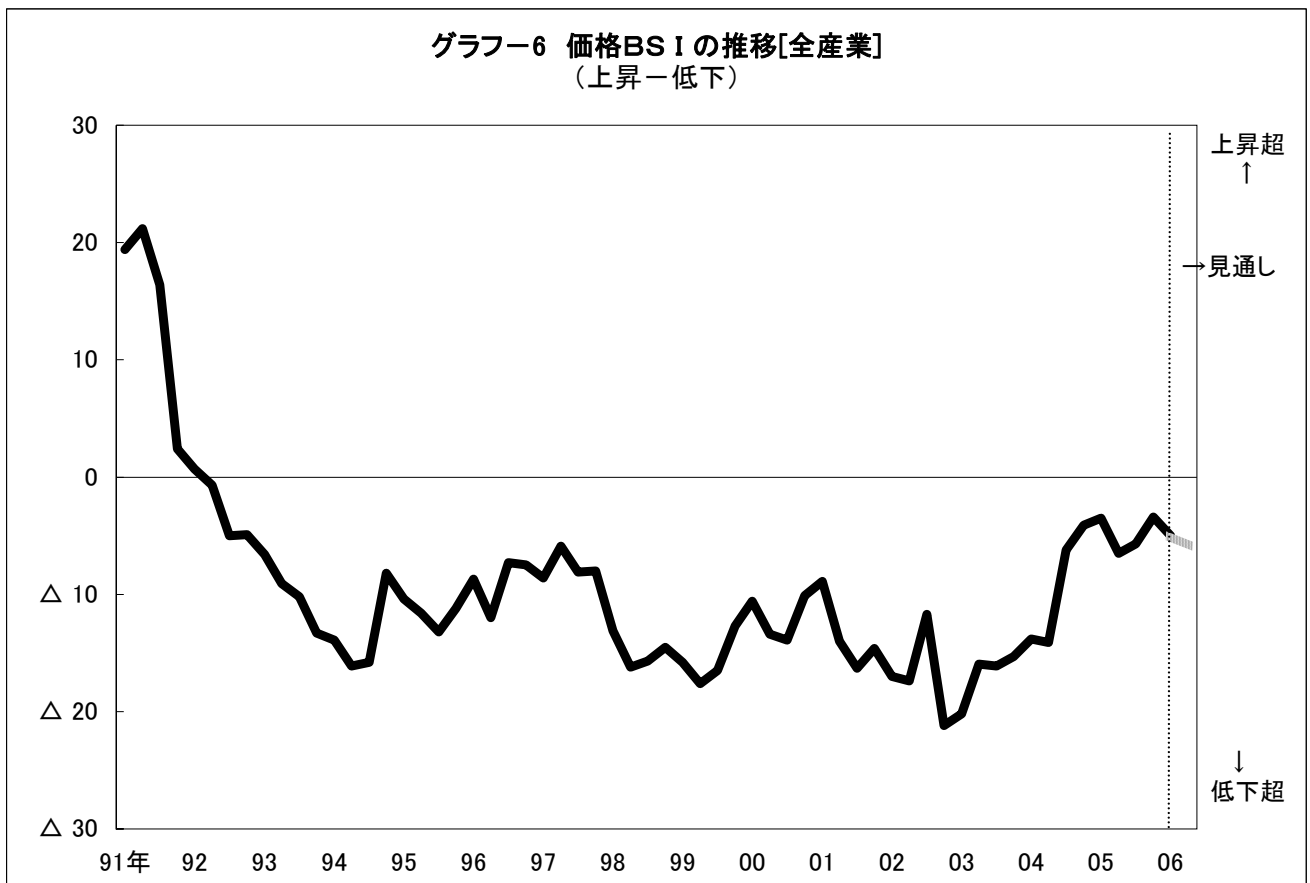
5. 価格実績・見通しBSI（グラフー6）

価格BSI（全産業）は△5.0（前回比△1.6）と3期ぶりに「低下」超幅が拡大した。製造業では、大企業、中小企業ともに、「低下」超幅が縮小した。大企業は0.0（同+6.3）となり、現行区分で統計開始（95年7～9月）以来初めてマイナス値（「低下」超）を脱した。非製造業は△7.5（同△6.5）と「低下」超幅が拡大した。非製造業を業種別にみると、ホテル・旅館、サービスの「低下」超幅が大幅に拡大したほか、建設が2期連続、運輸・倉庫は4期連続で「上昇」と回答した企業がゼロとなるなど、非製造業では依然として価格低下圧力が強いことが窺われる。

先行きの価格BSI（全産業）は、△5.9と実績比△0.9低下見込み。

	04年度		05年度				
	実績					見通し	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回比	1～3月	実績比
全産業	△ 6.5	△ 5.7	△ 3.4	△ 5.0	△ 1.6	△ 5.9	△ 0.9
製造業	△ 7.0	△ 6.2	△ 5.5	△ 3.0	2.5	△ 5.3	△ 2.3
大企業	△ 4.0	△ 4.7	△ 6.3	0.0	6.3	△ 8.0	△ 8.0
中小企業	△ 7.9	△ 6.7	△ 5.2	△ 4.0	1.2	△ 4.4	△ 0.4
非製造業	△ 5.9	△ 5.2	△ 1.0	△ 7.5	△ 6.5	△ 6.6	0.9
大企業	△ 3.3	△ 3.0	1.4	△ 8.1	△ 9.5	△ 8.7	△ 0.6
中小企業	△ 8.5	△ 7.4	△ 3.0	△ 7.0	△ 4.0	△ 4.5	2.5

	04年度		05年度				
	実績					見通し	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回比	1～3月	実績比
食料品	△ 10.8	△ 10.6	△ 3.6	△ 4.4	△ 0.8	△ 5.9	△ 1.5
石油・化学	△ 1.8	△ 1.7	△ 3.6	3.9	7.5	△ 2.0	△ 5.9
プラスチック	△ 10.7	△ 8.4	△ 11.6	8.9	19.9	0.0	△ 8.3
窯業・土石	△ 7.2	△ 5.0	△ 5.9	△ 6.7	△ 0.8	△ 6.7	0.0
鉄鋼・非鉄金属	10.0	11.6	3.6	3.9	0.3	△ 7.7	△ 11.6
金属製品	1.8	5.8	△ 1.7	△ 1.8	△ 0.1	1.8	3.6
一般・精密機械	△ 8.4	△ 3.0	3.6	△ 10.0	△ 13.6	△ 10.0	0.0
電気機械	△ 18.2	△ 15.0	△ 22.2	0.0	22.2	△ 5.6	△ 5.6
輸送用機械	△ 11.8	△ 25.0	△ 19.3	△ 15.7	3.6	△ 16.7	△ 1.0
その他製造	△ 14.8	△ 14.0	△ 7.7	△ 4.8	2.9	△ 7.1	△ 2.3
建設	△ 11.1	△ 13.2	△ 14.3	△ 11.8	2.5	△ 11.8	0.0
運輸・倉庫	△ 6.3	△ 11.6	△ 11.6	△ 10.7	0.9	△ 14.3	△ 3.6
卸売	1.7	1.5	2.9	2.8	△ 0.1	1.4	△ 1.4
小売	3.6	△ 1.4	4.3	△ 1.6	△ 5.9	△ 3.2	△ 1.6
ホテル・旅館	△ 8.9	0.0	10.0	△ 17.9	△ 27.9	△ 10.8	7.1
サービス	△ 13.6	△ 9.0	△ 4.3	△ 15.0	△ 10.7	△ 10.0	5.0



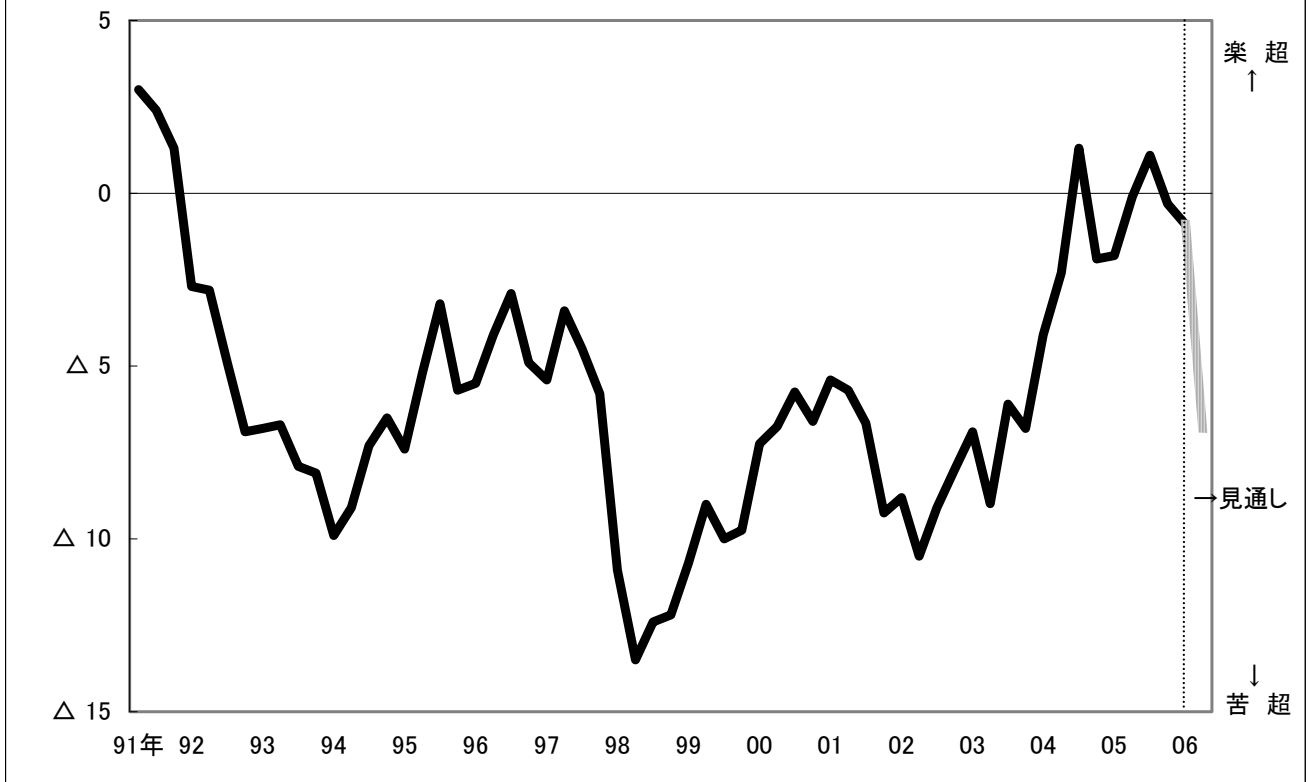
6. 資金繰り実績・見通しBSI（グラフー7）

資金繰りBSI（全産業）は $\Delta 0.9$ （前回比 $\Delta 0.6$ ）と2期連続で悪化した。製造業は $\Delta 0.8$ と同 $\Delta 1.3$ 悪化した。非製造業は $\Delta 0.9$ （同 $+0.3$ ）と僅かながら改善した。業種別にみると、製造業では電気機械、プラスチックなどは改善したが、窯業・土石、石油・化学などは悪化した。非製造業では、運輸・倉庫、ホテル・旅館などは改善したが、建設やサービスは悪化した。

先行きの資金繰りBSI（全産業）は $\Delta 6.8$ （実績比 $\Delta 5.9$ ）と悪化見込み。

	04年度	05年度					
	実績					見通し	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	前回比	1～3月	実績比
全産業	$\Delta 0.1$	1.1	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.9$	$\Delta 0.6$	$\Delta 6.8$	$\Delta 5.9$
製造業	$\Delta 1.7$	1.0	0.5	$\Delta 0.8$	$\Delta 1.3$	$\Delta 6.0$	$\Delta 6.1$
大企業	6.2	4.7	2.1	2.0	$\Delta 0.1$	$\Delta 5.9$	$\Delta 7.9$
中小企業	$\Delta 4.1$	$\Delta 0.3$	0.0	$\Delta 1.8$	$\Delta 1.8$	$\Delta 7.3$	$\Delta 5.5$
非製造業	1.8	1.2	$\Delta 1.2$	$\Delta 0.9$	0.3	$\Delta 6.7$	$\Delta 5.8$
大企業	3.7	4.7	0.6	1.3	0.7	$\Delta 5.0$	$\Delta 6.3$
中小企業	0.0	$\Delta 2.3$	$\Delta 2.8$	$\Delta 2.9$	$\Delta 0.1$	$\Delta 8.3$	$\Delta 5.4$
食料品	$\Delta 13.2$	$\Delta 7.7$	$\Delta 8.3$	$\Delta 7.0$	1.3	$\Delta 8.3$	$\Delta 1.3$
石油・化学	0.0	0.0	1.8	$\Delta 4.0$	$\Delta 5.8$	$\Delta 4.0$	0.0
プラスチック	$\Delta 3.6$	$\Delta 8.4$	$\Delta 7.7$	4.2	11.9	$\Delta 13.7$	$\Delta 17.9$
窯業・土石	$\Delta 3.4$	5.3	5.9	$\Delta 10.0$	$\Delta 15.9$	$\Delta 10.0$	0.0
鉄鋼・非鉄金属	3.3	0.0	3.6	0.0	$\Delta 3.6$	$\Delta 15.4$	$\Delta 15.4$
金属製品	0.0	2.0	$\Delta 3.4$	$\Delta 3.6$	$\Delta 0.2$	$\Delta 9.0$	$\Delta 5.4$
一般・精密機械	5.6	5.9	7.2	3.4	$\Delta 3.8$	$\Delta 3.3$	$\Delta 6.7$
電気機械	22.7	13.7	5.6	16.7	11.1	0.0	$\Delta 16.7$
輸送用機械	0.0	3.4	7.2	6.3	$\Delta 0.9$	$\Delta 6.7$	$\Delta 13.0$
その他製造	$\Delta 5.6$	6.3	3.9	4.8	0.9	0.0	$\Delta 4.8$
建設	0.0	$\Delta 2.5$	$\Delta 9.4$	$\Delta 12.5$	$\Delta 3.1$	$\Delta 12.5$	0.0
運輸・倉庫	2.5	0.0	$\Delta 2.9$	3.0	5.9	$\Delta 2.9$	$\Delta 5.9$
卸売	4.7	1.4	4.2	4.2	0.0	1.5	$\Delta 2.7$
小売	6.9	5.4	$\Delta 2.8$	$\Delta 1.4$	1.4	$\Delta 8.6$	$\Delta 7.2$
ホテル・旅館	$\Delta 3.6$	0.0	$\Delta 13.4$	$\Delta 7.7$	5.7	$\Delta 11.6$	$\Delta 3.9$
サービス	$\Delta 1.1$	0.0	2.9	1.2	$\Delta 1.7$	$\Delta 8.9$	$\Delta 10.1$

グラフー7 資金繰りBSIの推移[全産業]
（楽－苦）



7. 設備投資動向 (2005 年度設備投資計画額)

05 年度設備投資計画 (全産業ベース、06 年 1 月調査、全回答先 370 社) は、04 年度実績比+0.4%となった。製造業では同+5.8%増加したが、非製造業では同△2.5%減少した。期初計画比 (同) でも+0.3%と僅かながら上方修正となった。製造業では同△6.2%の下方修正、非製造業は上方修正 (同+4.7%) となった。製造業では、大企業では下方修正されたが、中小企業での上方修正が目立った。

(単位: 億円、%)

	04年度 実績額	05年度期初計画額		05年12月末時点修正計画額		
			04年度比		04年度比	期初計画比
全 産 業	1635.5	1638.0	0.2	1642.8	0.4	0.3
製造業	584.3	658.7	12.7	617.9	5.8	△ 6.2
大企業	540.0	619.8	14.8	573.8	6.3	△ 7.4
中小企業	44.3	38.9	△ 12.2	44.1	△ 0.4	13.5
非製造業	1051.2	979.3	△ 6.8	1024.9	△ 2.5	4.7

8. 雇用BSI

(1) 雇用実績・見通しBSI (グラフー8)

雇用BSI (全産業) は 5.6 (前回比△1.2) と 6 期連続で「不足」超となった。製造業は 4.9 (同+0.7) と「不足」超幅が拡大したが、非製造業は 6.4 (同△3.3) と「不足」超幅が縮小した。製造業、非製造業ともに大企業より、中小企業の雇用不足感が強い。業種別には、「過剰」超は石油・化学のみで、2 業種が「適正」、13 業種は「不足」超となっている。

先行きの雇用BSI (全産業) は 7.5 (実績比+1.9) と不足感が強まる見込み。

	04年度		05年度				
	実 績				見 通 し		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	実績比	
全産業	4.8	5.6	6.8	5.6	△ 1.2	7.5	1.9
製造業	3.0	3.2	4.2	4.9	0.7	6.1	1.2
大企業	4.4	5.0	1.1	1.1	0.0	7.6	6.5
中小企業	2.5	2.5	5.4	6.5	1.1	5.6	△ 0.9
非製造業	7.1	8.3	9.7	6.4	△ 3.3	9.0	2.6
大企業	5.2	8.5	8.5	3.1	△ 5.4	7.7	4.6
中小企業	8.9	8.0	10.8	9.7	△ 1.1	10.4	0.7

注) BSI が大きいと雇用不足であることを表す

	04年度		05年度				
	実 績				見 通 し		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	実績比	
食 料 品	0.0	0.0	0.0	7.9	7.9	12.2	4.3
石油・化学	2.0	7.4	4.2	△ 4.8	△ 9.0	6.6	11.4
プラスチック	0.0	10.0	4.6	5.0	0.4	9.1	4.1
窯業・土石	11.6	12.5	6.3	7.7	1.4	3.9	△ 3.8
鉄鋼・非鉄金属	3.9	△ 4.2	17.9	15.4	△ 2.5	16.7	1.3
金属製品	2.5	0.0	2.1	4.4	2.3	3.7	△ 0.7
一般・精密機械	10.8	11.6	12.5	4.0	△ 7.9	△ 7.7	△ 12.3
電 気 機 械	5.6	0.0	0.0	11.1	11.1	14.3	3.2
輸送用機械	3.9	△ 4.6	7.7	0.0	△ 7.7	△ 6.3	△ 6.3
その他製造	△ 2.7	0.0	△ 2.4	2.9	5.3	8.8	5.9
建 設	6.3	10.0	7.2	9.1	1.9	14.7	5.6
運輸・倉庫	5.6	3.6	9.4	9.4	0.0	6.3	△ 3.1
卸 売	3.5	1.7	3.7	6.7	3.0	4.7	△ 2.0
小 売	15.0	10.4	7.4	6.0	△ 1.4	13.6	7.6
ホテル・旅館	10.0	8.4	10.0	0.0	△ 10.0	△ 3.6	△ 3.6
サ ー ビ ス	5.6	11.7	15.6	6.4	△ 9.2	11.6	5.2

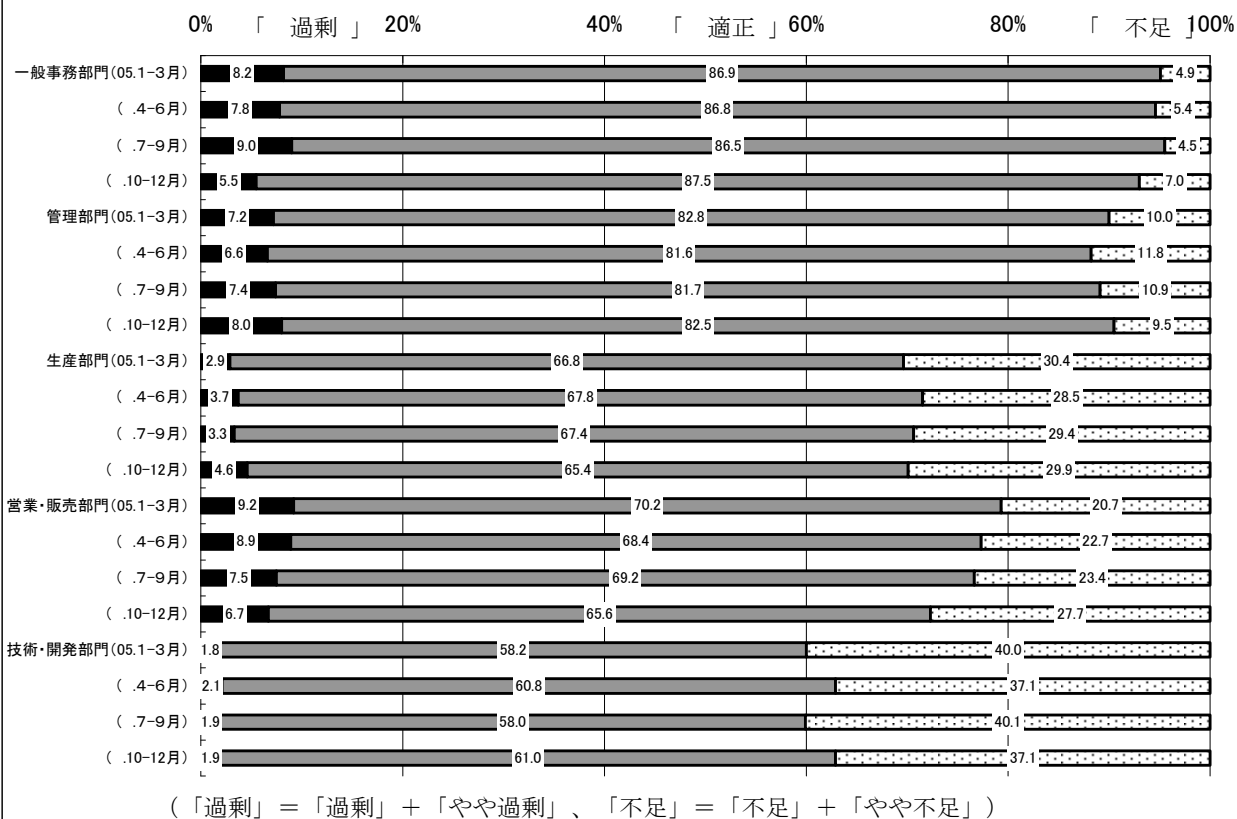
グラフ-8 雇用充足度BSIの推移[全産業]
(不足-過剰)



(2) 職種別の雇用過不足感 (グラフ-9)

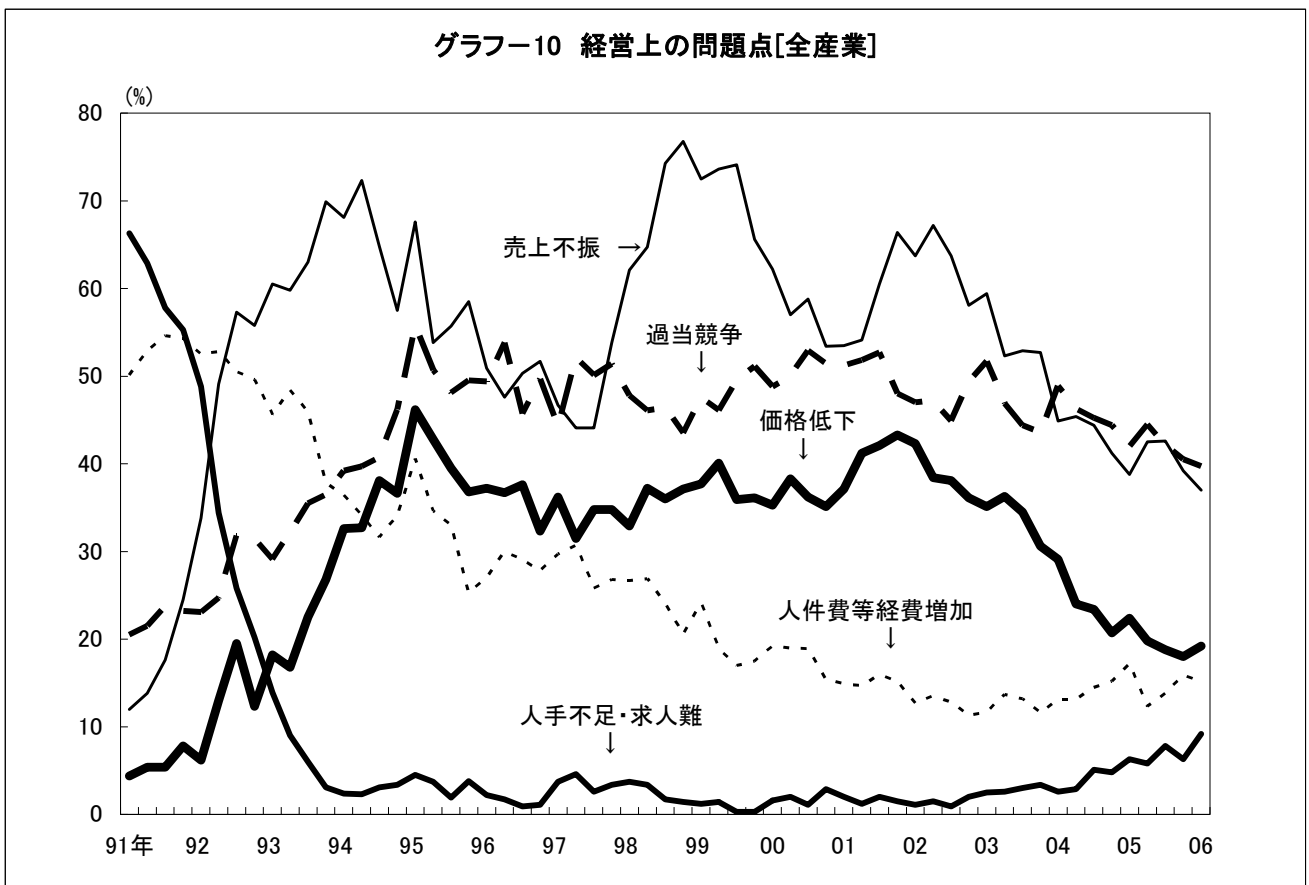
職種別にみると、営業・販売部門で3期続けて雇用不足感が強まったのが目立つ。

グラフ-9 職種別の雇用過不足感(全産業)



9. 経営上の問題点（グラフー10）

経営上の問題点として、「売上不振」を挙げる先が減少し、「人手不足・求人難」「価格低下」を挙げる先が増加した。



（ 関 寛 之 ）

○BSIとは

- ・BSIとは Business Survey Index（業況判断指数）の略。企業経営者の業況に関する実績判断や見通し、収益実績や見通しについて、「上昇・増加・好転」、「不変・横ばい」、「低下・減少・悪化」という3つの選択肢に対して回答を求め、これを数値で表したものである。
- ・BSIは次の式で求める。
- ・A = 「上昇・増加・好転」、B = 「不変・横ばい」、C = 「低下・減少・悪化」とすると、 $A + B + C = 100$ とした時、 $BSI = A + 1/2B - 50 = 1/2(A - C)$
- ・この結果、BSIがプラスならば上昇、マイナスならば低下ということになり、最高値は50、最低値はマイナス50になる。2005年10～12月期の全産業の業況判断を例にとると、BSIは5.3であるが、これは「好転」企業の割合24.2%、「悪化」企業の割合13.7%であることから $BSI = (24.2 - 13.7) \times 1/2 = 5.3$ となる。ただし、在庫状況、雇用充足度の場合は、BSIが大きいと在庫過大、小さいと雇用過剰であることを表す。

業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	370	315	55	139	231
製造業	192	157	35	53	139
食料品	36	30	6	12	24
石油化学	26	18	8	13	13
プラスチック	12	9	3	3	9
窯業土石	15	14	1	1	14
鉄鋼非鉄	13	12	1	4	9
金属製品	28	22	6	4	24
一般精密	15	13	2	4	11
電気機械	9	6	3	4	5
輸送用機械	17	15	2	4	13
その他製造	21	18	3	4	17
非製造業	178	158	20	86	92
建設業	21	21	0	4	17
運輸倉庫	18	17	1	6	12
卸売業	38	32	6	11	27
小売業	37	33	4	27	10
ホテル・旅館	15	11	4	8	7
サービス業	49	44	5	30	19

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

調査要領

1. 対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法… 郵送によるアンケート方式
3. 実施時点… 2006年1月初
4. 回答状況… 調査対象企業 739社
内有効回答数 370社
有効回答率 50.1%
5. 項目および対象期間
 - ① 2005年10～12月期の業況実績
 - * 前年同期比
売上、生産、操業度、受注、在庫、収益、資金繰り、雇用
 - * 前四半期比
業況判断、価格
 - ② 2006年1～3月期の見通し
 - * 前年同期比
売上、生産、操業度、受注、在庫、収益、資金繰り、雇用
 - * 前四半期比
業況判断、価格
 - ③ 設備投資
2004年度実績
2005年度期初計画
2005年度12月末時点修正計画額
2006年度設備投資計画